

第54号

2018.10.15

若狭町

議会だより

福井しあわせ元気国体 2018

第73回 国民体育大会

織りなそう 力と技と美しさ

平成30年(2018年) 9月29日(土)～10月9日(火)



9月12日
福井国体オープンウォータースイミング(食見海岸)



福井しあわせ元気大会 2018

第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

平成30年(2018年) 10月13日(土)～10月15日(月)

もくじ

平成29年度決算	……	P2～P5
9月定例会	……	P6
常任委員会報告	……	P7
議員賛否一覧・視察報告	……	P8
一般質問	……	P9～P11
12月定例会の日程	……	P11
議会の動き・編集後記	……	P12

実質公債費比率 15.3%
公債費による財政負担の程度を示す数値 前年度対比 0.2% 増
経常収支比率 89.8%
財政の硬直化を示す数値 前年度対比 3.4% 減

平成29年度 決算を認定

9月定例会 8月31日(金)～9月26日(水)

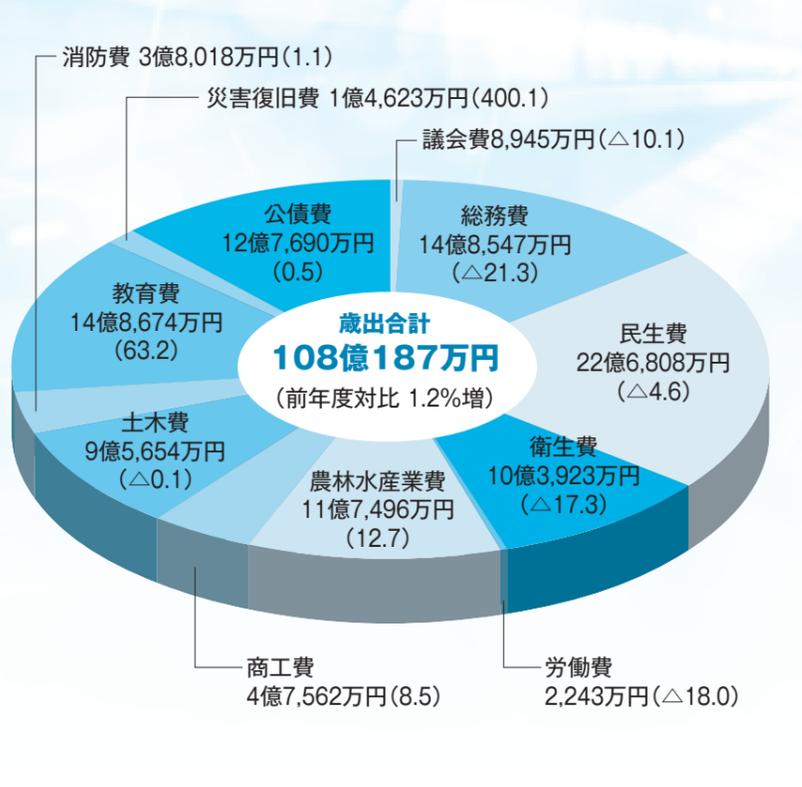
歳入 自主財源 31.3%
依存財源 68.7%

一般会計歳出総額 108億187万円

平成29年度主要事業

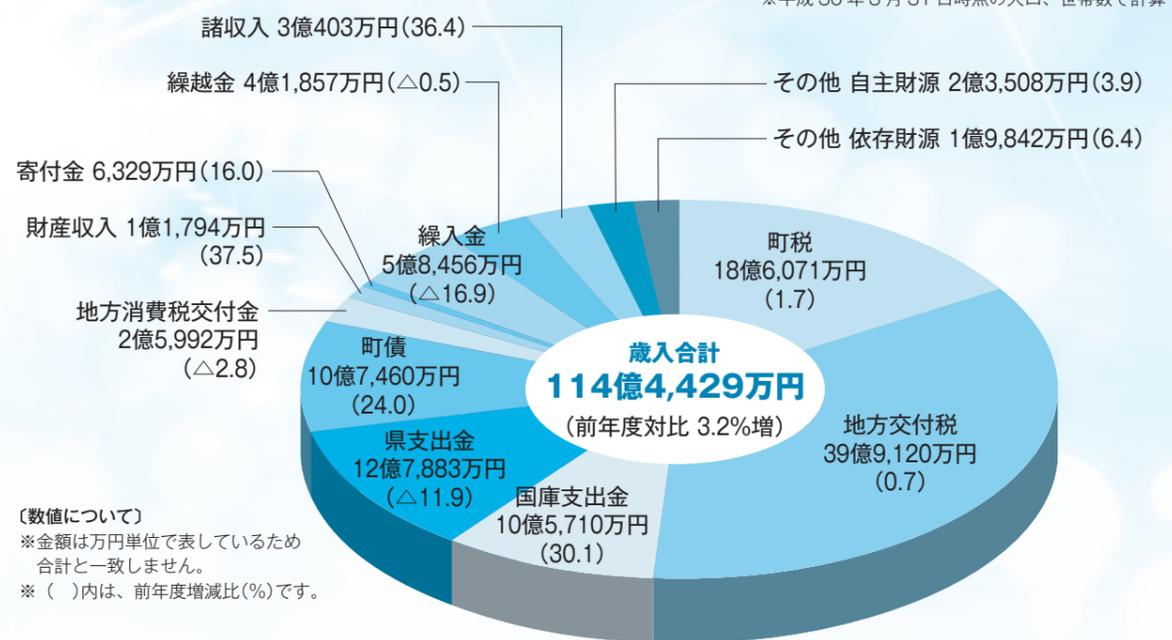
総務費	
◇町長及び町議会議員選挙費 (町長及び町議会議員選挙執行経費)	717万円
民生費	
◇児童手当事業 (児童を養育している保護者に手当を支給)	2億2,222万円
衛生費	
◇清掃総務費 (一般廃棄物処理業務の委託や不法投棄回収処理など)	3億1,731万円
農林水産業費	
◇農山漁村活性化整備対策事業 (旧岬小学校を滞在型漁業体験学習施設に改修)	1億1,961万円
商工費	
◇企業誘致促進事業 (進出企業に対し振興補助金を交付)	1億5,663万円
土木費	
◇三方PAスマートIC整備事業 (三方五湖PAから梅街道に接続するスマートICを整備・H28繰越分含む)	2億2,783万円
消防費	
◇消防事業費 (敦賀美方消防組合、若狭消防組合への負担金など)	3億8,017万円
教育費	
◇三方グラウンド大規模改修事業 (グラウンドを改修し、機能向上と危険個所の改良を図る)	7,334万円
災害復旧費	
◇林道施設災害復旧費(補助) (台風21号災害による6箇所の復旧工事)	5,069万円

私たちの税金は どう使われたのか?



支出は 住民一人当たり **約71万円** (前年度対比 2万円増)

世帯当たり **約216万円** (前年度対比 15万円増)



特別会計・企業会計

特別会計名	歳入	歳出	特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	21億4,901万円	20億6,478万円	農業集落排水処理事業	4億1,571万円	4億1,382万円
後期高齢者医療	1億7,949万円	1億7,945万円	漁業集落排水処理事業	3,564万円	3,385万円
直営診療所	8,752万円	8,231万円	公共下水道事業	5億3,010万円	5億2,688万円
介護保険	19億2,772万円	18億7,738万円	町営住宅等	4,644万円	4,045万円
簡易水道事業	1億7,905万円	1億4,559万円	土地開発事業	1億999万円	1億824万円
農業者労働災害共済事業	232万円	220万円			

企業会計名	区分	収入	支出	差引
水道事業	収益的	1億3,358万円	1億2,893万円	465万円
	資本的	4,247万円	1億5,348万円	△1億1,101万円
工業用水道事業	収益的	2,363万円	3,305万円	△942万円
	資本的	2,813万円	2,813万円	0
上中診療所事業	収益的	4億8,062万円	5億6,287万円	△8,225万円
	資本的	2億5,591万円	2億8,029万円	△2,438万円

問 総合戦略課(観光交流室)関連
答 国内・国外プロモーション活動支援事業の事業内容で、台湾文化と中国語講座を3回開催しているが、参加人数は
問 1回目は20名、2回目が16名、3回目が18名である。
答 みさき漁村体験施設の概要や使用料が、記載されているパンフレット等はあるのか。
問 福井工業大学が作成したパンフレット等に、記載している。
答 それを町が活用し、都市部の若者が集まるような宣伝を町ができないのか。
問 金井学園ともしっかり連携を取り、広くパンフレット等を活用し、行政としてPRをしよう。

問 収入未済調書では、過年度分については約1割から2割の収納率である。例えば、簡易水道料金の過年度分は、434万1千円が未済である。滞納者の水道を止めることはできないのか。
答 滞納者からそのような指摘もあり、監査委員からそのような指摘もあり、税務住民課が主体となり連携会議で、滞納整理の方法や、給水を止める、止めないといったことも検討している。

平成29年度決算審査



みささ漁村体験施設パンフレット

▼総合戦略課(国体推進・熊川活性化室)関連

問 多世帯同居・近居促進事業の補助上限が、同居住宅リフォームで30万円、近居住宅取得で20万円となっているが、もう少し上限を上げることができないのか。

答 財政事情も鑑みて、この補助額として

▼総合戦略課(特産振興室)関連

問 6次産業化ネットワーク活動交付金事業で交付金を出した場合、どのような活動をしているか等の追跡調査をしているのか。

答 捕獲された有害鳥獣で焼却施設に持ち込まれた分は、町が報償費を支払っていることだが、食肉加工施設に持ち込まれた分は、業者が報償費を支払うのか。

▼農林水産課関連

問 動物死骸処理については、道路で車にはねられた動物など、公共施設等に死骸として残っているものは、生倉の動物焼却施設で処理する。獣害対策で処理した動物は、海士坂の獣害処理場で処理する。小浜市の可燃物処理場への持ち込みは無い。

問 敬老会事業の予算設定根拠はどのようなものか。

▼福祉課関連

問 敬老会の予算設定は、対象年齢を65歳以上として算定し、実施するに当たっては、各地域づくり協議会で実情に合わせ実施されている。

問 6次産業化については商工会、観光協会など事業主体が違う部分もあるが、町が交付金を出している部分については、しっかりと調査をしているのか。

問 近年、乳幼児等の健診から虐待を予防し、早期発見につながるということが重要視されている。数%の未受診児家庭に対する対応や把握はしているのか。保健師が各家庭を訪問し、母子手帳等を参考に確認している。

▼環境安全課関連

問 清掃総務費の一般廃棄物で動物死骸99頭の処理分別について、海士坂の獣害処理場へ持ち込みをするものと、小浜市の可燃物処理場(クリーンセンター)へ持ち込むものの区分はどうなっているのか。

問 高齢者予防接種事業では、肺炎球菌の予防接種率が44%と低い。高齢者の死亡原因に肺炎で亡くなられる方が多いが、現状をどのように捉えているのか。低い受診率であるため、今後多くの方に接種していただくよう、広報等での告知対応をし、接種率が上がるよう取り組む。

▼パレオ文化課関連

問 パレオ若狭運営事業で、入場料や使用料は年間いくらか。

▼パレオ文化課関連

問 図書は約370万円である。使用料は運営事業に充当している分は、約180万円である。

▼パレオ文化課関連

問 図書の廃棄処分について、全てゴミとして出してしまうのか、それとも古本として希望される方を公募するのか。

▼パレオ文化課関連

問 雑誌関係については一定期間が過ぎれば、自由にお持ち帰りいただくことになっている。古書については古本市に出したり、上中駅や各地区公民館、小学校施設に寄贈することもある。

▼福祉課関連

問 敬老会事業の予算設定根拠はどのようなものか。

問 各学校の用務員は正職員であったが、パートに変更した事が要因である。

問 社会教育総務費の設置委託30万円と、施設管理委託124万1千円は何を委託しているのか。

答 設置委託については、歴史上の人的文化遺産顕彰事業に関するイベント設置のものである。施設管理委託については、佐久間記念館の管理委託料である。

【特別会計】

▼国民健康保険特別会計

問 平成29年度は国保税を上げずに、法定外繰入金もなく会計に余裕が出来たという説明であったが、どのような理由で余裕ができたのか。

問 基金の積立額は増えてるが、今後保険料を下げるのか、加入者に還元をしていく考えはないのか。

▼農業者労働災害共済事業特別会計

問 掛金は1戸当たり平等で300円、1反当たり1000円という少額な掛け金である。今後加入される方は減少していくであろうと予測され、例えば死亡事故が発生した場合は、最大で約340万円の補償を支払う必要がある。そういったことも勘案して、剰金は基金に積み、補償に備えていきたいという考えである。

問 企業会計と特別会計では、一般会計からの繰入金について何が違うのか。

【企業会計】

▼水道事業会計

問 企業会計と特別会計では、一般会計からの繰入金について何が違うのか。

▼工業用水道事業会計

問 工業用水道事業会計は根本的に赤字である。容量を減らすなどの、設備置き換えを検討していかなければならないのではないか。

▼上中診療所事業会計

問 上中診療所には、一般会計から1億2千万円を繰り入れし、純損失が約8千万円である。公立小浜病院組合に約1億4千万円を負担し、レイクヒルズ美方病院にも約1億5千万円を負担している。上中診療所だけの問題ではなく、それらも含めて改革の方向性をしっかりとしたい。



予算決算常任委員会

▼直営診療所特別会計

問 三方診療所では、床清掃等を委託しているのに、用具借料を支出しているのはどうしているのか。

問 町営住宅使用料年度分で101万9千円が未納となっている。未納が続くと実情がわからなくなり、不納欠損することになるのではないのか。

▼介護保険特別会計

問 人件費繰入金の内訳は、給料、職員手当、共済費、退職手当等負担金に充当している。

▼町営住宅等特別会計

問 町営住宅使用料年度分で101万9千円が未納となっている。未納が続くと実情がわからなくなり、不納欠損することになるのではないのか。

▼後期高齢者医療特別会計

問 後期高齢者の保険料は、年金から徴収をされているはずであるのに、収入未済額があるのはなぜか。

問 過年度分収入未済額を確認すると、多額の未済額がある。このことについてどう考えているのか。

▼公共下水道事業特別会計

問 過年度分について、満額を納入いただいていない方については、分納の約束をして、徐々に納付していただくことを繰り返しながら、収納してもらえよう取り組んでいく。

【意見】

上中診療所には、一般会計から1億2千万円を繰り入れし、純損失が約8千万円である。公立小浜病院組合に約1億4千万円を負担し、レイクヒルズ美方病院にも約1億5千万円を負担している。上中診療所だけの問題ではなく、それらも含めて改革の方向性をしっかりとしたい。

常任委員会報告

予算決算常任委員会

○一般会計補正予算

主な質疑事項

▼総合戦略関連

問 わかさで元気な地産地消事業で、魚の煮捌き体験を1戸当たり5万円の補助金としているが、材料も含めてか、またどこに依頼するのか。

答 材料も含めての補助で、漁業協同組合を通じて依頼する。

問 高槻電器工業から4千万円の土地売却収入があるが、今年の未までに売却をして、納入されるのか。

答 年内を目途に納入いただく予定である。

▼建設水道課関連

問 屋外広告物改修補助金19件ということであるが、全て終了しているのか。

答 全て終了している。



○特別会計補正予算

▼国民健康保険特別会計関連

問 基金積立金で8,156万円を計上しているが、今まではなかったのか。

答 平成28年度基金残高は7,100万円余りで、平成29年度も3,053万円の積み立てをしている。今回のも合わせる、1億8千万円余りになる。

▼簡易水道事業特別会計関連

問 一般会計繰入金60万円は消火栓移設ということであるが、一方で繰越金2,697万7千円を補正計上して基金に積み立てるということであるが、このようなルールであったのか。

答 一般会計、特別会計において、総務省通知で建設事業費の何%は一般会計から繰り出すというようなルールであり、水道事業をはじめ、企業会計もそれに基づいている。消火栓については、利用料徴収に関わらない部分であるので、一般会計から繰り入れをするということである。

総務産業建設常任委員会

当委員会への付託案件議案1件は委員全員の賛成で可決すべきものと決定。
○財産の処分について
現在、高槻電器工業(株)に貸し出している町有地の能登野及び上野地係の工業用地を、企業振興を図るため同社に譲渡するもの。

主な質疑事項

問 3年の年賦ということであるが、移転登記は3年後に全ての納入があつてからで、それまでは町の所有物であるということだが、3年間は賃貸をするということでは賃貸料はもらうのか。

答 残りの面積分については、3年後に固定資産税が納付される場合、いくらになるのか。また、現在の年間賃貸料はいくらであるのか。



高槻電器工業(株)(能登野・上野)

財産	土地
所在地	町有地 能登野57号32-2 能登野58号1-1 上野13号1-2
面積	10,750㎡
譲渡額	96,757千円

問 この議案を本会議で可決されればすぐに取りかかる。

答 賃貸料については年間333万円である。固定資産税については約80万円と聞いている。

問 高槻電器工業が、この場所に移転されたときに土地の賃貸契約をしているということとは、その当時は景気が少し低迷しているということ、賃貸契約になった経緯があると認識をしている。今回、土地売却になったのは現在は高槻電器工業の業績が向上してきているなど、定期的に会社と情報交換などの機会があるのか。

答 雇用問題等について定期的な情報交換をしている。また、高槻電器工業の新たな事業展開についても協議をしている。土地の売却については町から依頼して高槻電器工業が快諾をされて進んだということである。

9月定例会

開催期間 8月31日(金)~9月26日(水)

一般会計予算を6億256万6千円増額補正
本年度総額 **104億2,774万円**

財政調整基金へ積立 3億4千万円
(財政調整基金の残高が9億4,386万円)

平成30年台風20号・21号災害復旧対策へ 3,412万円



佐古集落センター被害状況



林道倒木状況(上黒田)

主な事業

(千円単位は切り捨て)

事業内容	補正額
除雪対策事業(作業委託および機械賃借料等)	8,331万円
企業誘致促進事業(企業に対する振興補助金)	2,000万円
縄文博物館施設管理事業(駐車場舗装工事)	900万円
林道維持費(田井・向笠線改良工事および大石谷線災害復旧工事)	900万円
治山事業費(井ノ口地係の治山工事)	500万円
パレア若狭管理事業(建屋防水およびプロジェクター更新)	473万円
平成30年台風20号・21号災害による災害復旧関連予算	3,412万円

主な歳入

(千円単位は切り捨て)

◆国庫支出金	5,871万円	◆繰越金	4億6,466万円
◆県支出金	1,547万円	◆諸収入	1,342万円
◆財産収入	4,000万円	◆町債	△3,328万円
◆繰入金	3,988万円		

特別会計 主な事業

(千円単位は切り捨て)

会計区分	補正額	合計額	会計区分	補正額	合計額
国民健康保険	1億1,993万円	19億4,160万円	農業者労働災害共済事業	11万円	175万円
後期高齢者医療	609万円	1億9,222万円	農業集落排水処理事業	189万円	4億1,605万円
直営診療所	506万円	9,633万円	公共下水道事業	950万円	5億3,040万円
介護保険	3,516万円	19億4,247万円	町営住宅等	599万円	3,979万円
簡易水道事業	2,757万円	1億7,304万円	土地開発事業	△95万円	6,409万円



清水利一 議員

清水 全容的な現時点の被害の把握状況は。
町長 健康被害症状の訴えは27名、隣接工場で7名。車両変色42台。野菜他、水稲は約7ヘクタールで葉の斑点や枯れたような症状が発生の状況。
清水 補償対応面でも連携し対応されるのか。
町長 個別補償交渉において相談等があれば受け、

化学工場爆発事故 対応について

一般質問

(文責：質問者本人)

工場周辺の大気観測を早急に実施を

町長

必要性から、方法や場所を検討し実施していく

円滑に交渉が進むよう見守っていく。

清水 公害防止計画の提出及び環境保全協定の締結はされていたのか。

環境安全課長 煤煙、粉塵、振動騒音、ごみ処理、排水などの実施項目を示し提出され法律に基づいて締結されている。

清水 環境保全条例の運用見直しの考えは。

環境安全課長 今後、定期的に立入り検査等、監視面を強化していく。

清水 環境マネジメント手法を義務づける認証の取得に向けての指導は。

環境安全課長 環境省の環境マネジメントシステム制度を奨励していく。

清水 周辺住民と若狭テクノバレー間の避難体制や危機管理体制の見直しが必要だがその対応は。

町長 避難指示を出せるよう意見も反映して情報の提供体制、通報体制を整備



若狭テクノバレー内 化学工場爆発跡

地域公共交通デマンド事業の構築について

清水 財政的継続可能なデマンド構築の見直しをどう考えているのか。

町長 存続を視野に利用者中心のデマンドタクシーを利用する運動の展開等、料金改定とあわせて詳細を検討していく。

総合戦略の取り組みは

町長

元気あるまちづくりを展開し、実行している

まちづくりプランについて

辻岡 第2次若狭町総合計画(まちづくりプラン)は、どうなっているのか。

町長 平成29年より住民組織として、8名による町内有識者による審議会、20名で構成する若手住民による若者懇話会、行政組織として課長級による策定本部会、中堅職員による策定委員会により、検討を進めている。新しいまちづくりを進めるための戦略的にチャレンジしていく施策としては、

魅力ある産業の育成
魅力ある観光地づくり
魅力ある雇用の創出と担い手育成
歴史的資源を活用したまちづくり
としている。これに加え、まちづくりを進めるための基礎となるべき基本施策を合わせた計画の作成を進めており、年内を目処に答申をうける。



辻岡正和 議員

辻岡 第2次若狭町総合計画は、平成29年より取り組んでいて、今も続けられているという事だが、地域競争が進んでいる中、よりスピード感を持った社会の創造が求められる。現在の現在、出来る限り早く、答申を受け、プランを作成し、事業を進めてもらいたい。

河内川ダムについて

辻岡 来年度完成予定の河内川ダムの進捗状況がどうなのか、今後河内川ダムを若狭町はどのように活用していく計画なのか。

町長 全体事業量の約90%の進捗率で、今年秋以降には、試験放水が開始され、来年度の供用開始を目指している。
供用後は、洪水調整をはじめ、農業用の灌漑用水、住民生活に不可欠な水道用水、そして工業用水として活用する。

河内川ダムの完成により、治水・利水の両面から安定した水源基盤が整備され、安全・安心なまちづくりが出来る事を期待している。



9月定例会 議員賛否一覧

議長は、採決に加わりません。
○賛成 ×反対

賛否背景は各質疑事項(P3~5、7)をご参照ください。

議案等名	採決月日	藤本 武士	熊谷 勘信	渡辺 英朗	島津 秀樹	辻岡 正和	坂本 豊	今井 富雄	北原 武道	福合 洋	清水 利一	小堀 信昭	小林 和弘	松本 孝雄	原田 進男
平成29年度若狭町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	9/26	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	—

8月31日に採決され全員賛成で承認された議案

- 専決処分の承認を求めることについて(和解について)

9月26日に採決され全員賛成で認定、可決された議案

- 平成29年度若狭町水道事業会計、若狭町工業用水道事業会計及び若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算の認定について
- 平成30年度若狭町一般会計補正予算(第3号)
- 平成30年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町直営診療所特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町農業者労働災害共済事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町営住宅等特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度若狭町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
- 財産の処分について
- 平成30年度若狭町一般会計補正予算(第4号)



視察報告

Inspection report

若狭広域行政事務 組合議会

現在、高浜町和田地区において、広域ごみ焼却施設の設置に伴う周辺環境への影響を予測する「生活環境影響調査」を行っています。広域ごみ焼却施設の設置においては、対象地域が、若狭町から高浜町までの1市3町と広いこともあり、ごみの収集において中継施設を整備する必要があります。現在は場所の選定中であり、この中継施設の規模や施設、運営方法などを検証するため、去る8月10日に組合議会で、奈良県の田原本町清掃センターおよび斑鳩町のごみ積み替え施設の視察を行いました。



斑鳩町 ごみ積み替え施設



小堀信昭 議員

災害特別情報を出すタイミングは

環境安全課長

適切な避難情報を出していく

小堀 災害特別情報を出すマニュアルは。環境安全課長 台風の接近時、①待機、②気象警報が発表され小規模災害が発生または発生すると判断された場合、環境安全課長が総務・建設水道・農林水産各課長を招集、さらに被害拡大する恐れがあれば、町長の決定で災害警戒本部を設置し、理事者、全課長、消防署長を招集。大規模災害発生または発生する恐れがある場合、全職員を招集となっている。

小堀 特別情報は運用開始から5年しか経っていない。花崗岩質の多い町として安全確保の、注意法、警報、特別警報を出すマニュアルは。環境安全課長 土質別のマニュアルは無い。しかし昭和40年9月にも、これまで土砂災害が発生しているので適切な避難情報を出していく。

水道事業の基盤強化について
小堀 本年6月、国で水道法改正案の審議があった。町としてどう捉えているか。
建設水道課長 衆議院で可決され参議院に送付されたが、成立が見送られた。改正の概要は①水道事業の基盤強化を図るために国、都道府県及び市町村(関係者)推進と、実施にかかる責務を明確化。②水道業者間の広域連携の推進、③適切な資産管理の推進、④官民連携の推進となっている。



小堀 住民に避難情報を出すタイミングが難しいが、安全第一に運営することを強く求める。

小堀 コンセッション方式を利用する計画は。
建設水道課長 民間業者が当町の水道経営に参入することは考えにくい。

一般質問

(文責：質問者本人)



通学路に面したブロック塀の点検結果は

教育委員会事務局長

基準不適合18カ所、倒壊の恐れがあるもの8カ所を確認した

北原 6月、大阪府北部で地震が発生、小学校のブロック塀が倒壊し、女子児童が亡くなった。この事件を受け、文科省はブロック塀の安全点検を全国に要請した。本町の点検結果はどうだったのか。

教育委員会事務局長

三方中学校に2箇所の基準不適合ブロック塀があった。本9月議会に撤去・改修の予算を上程している。北原 通学路に面したブロック塀についてはどうだったのか。



北原 武道 議員

教育委員会事務局長 個人所有のブロック塀が265箇所あり、そのうち基準不適合と判断されるもの18箇所、倒壊の恐れがあるもの8箇所を確認した。北原 安全性に問題のあるブロック塀が26箇所といることになる。それらはどういうことになったのか。

教育委員会事務局長

国交省は、ブロック塀の所有者に対し、危険が確認された場合には、貼り紙などで通行人への注意を喚起することのほか、速やかに補修や撤去することを働きかけている。福井県も各土木事務所に電話相談窓口を開設している。

今後、県土木事務所の職員が、学校と合同で、通学路の危険ブロック塀を点検する予定である。必要に応じ、改修や撤去を依頼することになる。

北原 改修や撤去を依頼されても、ブロック塀の所有者にとっては、お金のかかる話である。自治体によっては、補助金を出しているところもあるが、本町は、そこまでの財政的余裕が無いと思われる。

「危険なブロック塀を改修・撤去して欲しい」と言っているのは国・県である。そもそも、小・中学生に教育を受けさせる一安全に教育を受けさせる一は国の義務である。危険なブロック塀を改修・撤去するのに、国は補助金を出すべきだ。町として、補助金を付けるように国に陳情してはどうか。そのことを提案する。



熊谷 勘信 議員

緊急災害発生時の職員の対応は

町長

研修による防災知識の向上と実践的な訓練の積み重ねにより、能力の強化を図っている

緊急災害発生における町の対応について

熊谷 本年は、突発的に発生した豪雪、地震、西日本豪雨により2000人を超える犠牲者が出るなど、大きな災害が発生した。我が町における緊急時の対応について職員の教育、指導をどのように行っているのか。

町長 地域防災計画に基づく防災訓練、避難訓練、水防訓練等を実施。また原子力防災訓練では、放射線の基礎知識や住民防護設置の研修等、防災知識の向上と実践的な訓練を積み重ね、職員の防災能力の強化を図っている。

観光客増加に向けた取り組みについて

熊谷 一人でも多くの観光客を呼び込むことは、財政面でも影響が大きいと考える中で、交流人口、関係人口を増やし町の活性化につながる拡大施策にはどのようなものがあるか。また実績はどうか。

町長 豊かな自然と豊富な食、固有資源をPRするイベントにより、県内外から多くの来客があり、今後も自然と食を活かした取り組みや、観光誘客イベント等を実施していく。またレインボーラインや熊川宿を中心に交流人口拡大を図っていく。



浜自然センターは年12万人の方が、来られていることから、町として県に対し増客に向けたPRの働きかけをしてはどうか。
総合戦略課長 本町では国体種目オープンウォータースイミングが食見海岸で開催され、多くの方が来られる。これを機会に、関係機関での共通認識とつながりを持ちながら、効果的な観光PRを務めていく。

平成30年 12月定例会の日程【会期:12月4日~12月21日】

すべて傍聴できます。上程される議案の件数などの関係で予定が変更になる場合があります。本定例会で扱う請願・陳情の受付は11月26日(月)15時締め切りです(議会事務局)。

12月4日(火)9時 本会議

議案が上程されます。直ちに質疑・討論・採決を行う議案もありますが、多くの議案は、審査を常任委員会に付託します。付託議案について付託すべき常任委員会を決定します。

12月10日(月)9時 本会議

一般質問(理事者に対して議員が自由に質問します)を行います。(一般質問は翌日から行政チャンネルで録画が放映されます。)

12月11日(火)9時 総務産業建設常任委員会

付託された議案について質疑・討論・採決を行い、各議案に対する審査の結論を出します。

12月12日(水)9時 教育厚生常任委員会

付託された議案について質疑・討論・採決を行い、各議案に対する審査の結論を出します。

12月13日(木)9時 予算決算常任委員会

付託された議案について質疑・討論・採決を行い、各議案に対する審査の結論を出します。

12月21日(金)9時 本会議

各常任委員会の委員長が、付託議案の常任委員会での審査結果を報告します。その後、全議員によって、各議案に対する質疑・討論・採決を行います。



議会の動き



7月13日 小浜市・若狭町・高島市
総合振興協議会総会・研修会



7月14日 若狭地方町村議会議員
交歓球技大会



8月2日 小浜市・若狭町総合振興協議会総会



8月23日 福井県町村議会議員研修会

編集後記

平成最後の国体となる「福井しあわせ元気」国体が、50年ぶりに開催されました。開会式には、天皇皇后両陛下がご臨席され、国体としては最後の御公務となりました。

また、第18回全国障害者スポーツ大会に合わせ、10月14日には皇太子殿下が、10月8日には秋篠宮両殿下が先月開館した福井県年縞博物館を見学されます。

さて、今年の夏は、大変な酷暑に見舞われ、例年になく台風も多く発生し、町内においても台風の被害を受けました。また西日本豪雨災害、大阪、北海道の地震など各地にも大きな被害をもたらしました。今後何が起こるか分からない時代なので、自分の身は自分で守ることも大切です。

そんな中、議会だより第54号を発行しました。一人でも多くの方に読んでいただけるような、議会だよりにしてまいります。

(坂本 豊)

